

平成19年度第5回PSLX技術部会 議事録

日時：2008年1月22日（火）13:00～17:00

場所：製造科学技術センター（第一会議室）

出席者：西岡、川内、児玉、山本、王、松川、岡宗（事務局）

1. 今後のディスカッションテーマの議論

APSOMあるいはPSLXフォーラムとして今後取り組むべき3つの新しいテーマについて、議論した。

テーマ1：あたらしいオブジェクトモデル（児玉）

- 製品設計、製品製造、アフターサービス
- 知識データ、実施データを分離して実装したい
- 製造知識、サービス知識、サービス知識
- 製造以外のサービスも対象にする（設計や改善）
- 環境をからめる（環境物質、リサイクル、リユース？）
- サービスの定義＝不具合の解消（正常の機能の維持）
- 保守（機械でなく製品の保守）アフターサービス
- PLM全体を対象とした知識－実施のモデルを新たにつくる
- 新しい視点を提示する、製造のモデルをまず作る。

テーマ2：EDIへの展開（川内）

- 基盤を制作する必要がある（プラットフォーム＋アプリケーション）。国がプラットフォームは提供する＋ベンダーはソフトのみ提供、このプラットフォームは利用可能（2009年度へ向けて）
- SaaS（会計ソフト、奉行シリーズなど）実証実験。ただし、SaaSがお互いに連携するか？（生産管理はまだまともなものはない？）
- 中小企業向け基幹業務ソフト（売り上げ5～20億）について、中小企業向け共通EDI+（NTT-AT製）生産管理システムあり。これをベースに、生産管理をSaaS、ASPで提供できないか？
- 現在の国内標準には、ECALGA（電子部品）、CEDI（化学）、EDIFACT（自動車）などがある。現在のイカルガベースのEDIを、PSLXベースのスキーマを作れないか？ ECALGAにかわるメッセージの仕様を提供する（現在はない）SCMとECMの両方が重要。

- P S L Xを用いて企業内の生産管理を企業間に展開するための課題は？ パート5（メッセージング）のより現実的な拡張（企業内から企業間へ）アダプター（P S L X→e b XML）

テーマ3：ME Sへの展開

- 製造現場の知識獲得（進化）を含むME SのPDCA（計画→実施→解析→改善）のサイクルをモデル化し、それを仕様化したい。
- 仕様作成にあたっては、現在活動中のME S Xからのインプットを歓迎する。また、ME S X以外からのインプットも歓迎する。
- I E C 6 2 2 6 4では、この領域（パート4相当）が未完成なので、完成すれば国際標準化も可能となるだろう。

2. P S L X標準仕様のダイジェスト版について

P S L X標準仕様のみでは、一般の人が理解できないため、ダイジェスト版あるいは解説書のようなものを作成し、今後W e b等に掲載していくこととした。

3. エバンジェリストの推薦

エバンジェリスト規定にしたがい、技術委員会／技術部会においてエバンジェリストを推薦することとなった。

4. 標準技術委員会の発足と本会の位置づけ

昨年12月の理事会において、標準技術委員会が発足し、本会は、その委員会の元で運営されるP S L X技術部会となる旨、説明があった。なお、他の部会としては、以下のものがあがっている。

PPS 技術部会

製造業情報技術部会

5. 技術仕様書バージョン2のリリース予定

技術仕様書は現在印刷手配中であり、2月8日ごろ会員への配布が可能となる予定。このタイミングにあわせて、W e bのページを更新する。

6. 今後の活動の基本計画

今後の活動として、新たな標準仕様の策定に取り組むのではなく、半年から1年くらいかけて、主要な問題点についての基本認識とアプローチ方法などについてホワイトペーパーを作成し、多くのメンバー／非メンバーにPRすることにした。

現時点であがっているホワイトペーパーのテーマは以下の3項目とし、それぞれ下記の責任者がエディタとして内容をまとめることとした。

- (1) PLM (アフターサービス展開) 責任者 (エディタ) : 児玉
- (2) EDI への展開 責任者 (エディタ) : 川内
- (3) MES/PDCA への展開 責任者 (エディタ) : 西岡

アクションアイテム

No	内容	担当	状態
1	次回打ち合わせ向けにWPのドラフトまたはPPTを作成する。	児玉、川内、西岡	未
2	PSLX仕様書のダイジェスト版をHPにアップロードする	西岡	未
3	エバンジェリストについて、次回の理事会までに推薦者決定	西岡から全員	未

次回の日程

日時：3月26日(水) 14:00~18:00

場所：製造科学技術センター

以上